



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



白石東地区まちづくり協議会 令和3年度の活動状況

白石東地区まちづくり協議会
会長 板垣俊夫

白石東地区まちづくり協議会会員の皆様におかれましては、日頃より、当地区のまちづくりに多大なご理解とご協力を頂いておりますことに、厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

令和3年度に至りましても、新型コロナウイルス禍の影響下にあり、ほとんどの事業活動が停滞を余儀なくされた1年でありましたが、当協議会及び白石東地区町内会連合会では、従来から力点を置いております、防災、災害に対する活動を継続して行ってまいりました。

令和2年10月17日(土)午後4時から、白石東会館において13町内会長、単位町内会衛生部等の役員約50人程度の参加を得て、日本赤十字北海道看護大学教授 根本昌宏氏をお招きしてのZOOMによる「新型コロナウイルスの特徴を踏まえた避難所運営を知る。」と題した講話を行いました。また、令和4年1月20日(木)午後3時から、同じく白石東会館において、ライフラインの復旧に着目して、「災害発生時のガス、燃料」について札幌アポロ株式会社、「水道の防災、災害後の水道の復旧」について札幌市水道局給水部計画課から講師をお招きして、座学の研修会を行った次第であり、大変有意義な研修となりました。

さらに、去る3月9日に、当協議会が白石東地区町内会連合会と協力して、防災、災害情報の発信、受信等のツールとして重要であるWi-Fi設備を、白石東会館に設置いたしました。会館利用者は無料で利用できますので、災害時に限らず、リモート会議や情報検索等、いろいろな形でご利用いただきたいと思います。

当協議会は、常に地域の皆様とともに一体となり、地域発展のために努力してまいり所存でございます。今後とも一層のお力添えを賜りますとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

会長が交代（交通安全実践会）

白石東地区交通安全実践会の会長が交代しました。

中村保男前会長は、昭和50年に札幌市の交通安全指導員に委嘱されて以来、50年近くにわたって地域の安全を守る活動に尽力され、平成19年度からは交通安全実践会の会長として、地域の交通安全活動の取りまとめ役を担ってこられました。

地下鉄の南郷18丁目駅付近で交通安全街頭指導を行ったり、マラソンなど地域で行われるイベントで交通整理に当たる姿をご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

交通安全指導は、子どもたちや地域の皆さんの安全・安心に大きく貢献する一方で、違反者や活動に理解のない方との間ではトラブルになることもあり、決して楽な職務ではなく、縁の下の力持ちとして陰で地域を支えてくれる大切な存在です。

中村前会長は、令和3年4月末で指導員を辞職し、8月の臨時総会で福田 洋氏が新会長に選出されました。

中村前会長、長い間本当にお疲れさまでした。

そして、これからも啓発活動に白石東地区の住民ボランティアとしてお手伝いいただくなど、白石東地区の交通安全推進に力をお貸しいただけると幸いです。

福田新会長は、現在、大谷地第二町内会の会長でもあり、平成21年から交通安全指導員をされています。福田新会長、白石東地区の安全・安心のためにどうぞよろしくお願いいたします。



福田会長から新1年生にリフレクターを贈呈 （交通安全実践会）

白石東地区交通安全実践会では、昨年度に引き続き「わんこ隊長」「ゆっきい」が描かれた交通安全のリフレクター(反射板)を作成し、新1年生の交通事故防止に役立てていただこうと、令和4年3月18日、福田 洋会長が地域の大谷地小学校、平和通小学校、東白石小学校を訪れ、校長先生にお渡ししました。

春からは、地域の交通安全への願いがこもったリフレクターを付けて新1年生が元気に登校する姿が見られると思います。

子どもたちが安全に、安心して学校生活を送ることができるよう地域全体で見守っていきましょう。



東白石中学校の生徒が除雪ボランティア

地域内で何か貢献できることはないかと、東白石中学校の生徒会が中心となり、白石区社会福祉協議会と地域内のご家庭の協力を得て、この冬、同校の生徒が校区内の複数のお宅で除雪ボランティアを行いました。

12月から1月にかけて準備を始めたときは、まだそれほど雪もなく、「3月に除雪をするときは融けてしまっているのではないか。」との話も出ていましたが、今年度は過去に例がないほどの大雪となり、逆に、3月の上旬でもどのくらい雪をよけることができるかと心配になるほどでした。

しかし、そんな心配は不要で、さすが中学生、最初は人ひとりがやっと通れるくらいしかなかった通路の幅が、生徒たちの力によって、みるみる十分な広さまで広げられ、除雪をお願いした方も大変喜んでいました。

冬期間は、外に出る機会や人と話す機会も減りがちで、特に今年度の大雪は、それに一層拍車をかける心配もありましたが、今回の除雪で、外出や荷物の出し入れがしやすく、便利になったことはもちろん、除雪をする生徒たちとの会話で、元気ももらっていたようでした。

東白石中学校では、次年度以降も何らかの形で地域貢献を継続していけないかと、今回の活動を検証していくとのことでした。今回の活動に携わった先生方、生徒さん、地域の元気のために本当にありがとうございました。特に、この春卒業し、それぞれの道を歩み始める生徒さんも一生懸命活動を行っていただいたとのこと。皆さんの未来が明るいものでありますこと、地域からお祈りしています。



友愛訪問 (地区社協)

令和3年9月20日を中心に地区の民生委員さんと町内会長さんがコンビを組んで、80歳以上の独居(近所に身内の方、ご親戚がいる方や介護サービスを受けている方を除く。)の皆さんのお宅を訪問し、「コロナ禍で不自由な毎日をお送りでしょうが、お元気で長生きしてください。」と声をかけるとともに、白石東地区社会福祉協議会から防災用具のアイテムとして爪切りやスタンド兼用懐中電灯をプレゼントしました。

子育てサロンこのゆびと〜まれ! (地区社協)

令和3年の子育てサロンは、令和2年から続くコロナウイルス感染症に翻弄され、5月から9月まで中止となりました。例年ですと、12月のクリスマス会には、大藤こども園の皆さんがお遊戯などを披露してくれたり、サンタさんがプレゼントを持って登場したりと、大いににぎわう行事ですが、令和3年12月のクリスマスサロンは行われず、通常通りのサロン開催となりました。



ところが、なんとなく寂しい雰囲気の中、突然、白石東地区のマスコットキャラクター「わんこ隊長」が登場！一緒にアンパンマン体操を踊ったり、即席撮影会が始まったりと楽しいひと時を過ごすことができました。

1月のサロンでは「今日はわんこ隊長来ないの？」というちびっ子があり、地域に愛されるキャラクターに育っていくことを実感させられる出来事でした。



防災の取組(町連、地区社協)

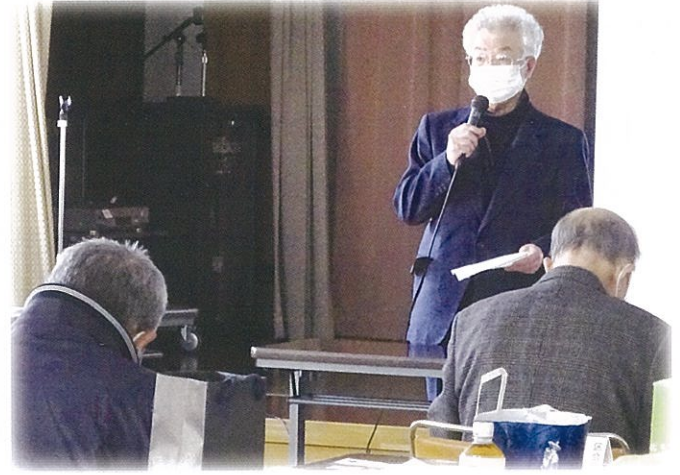
令和4年1月17日、札幌市の危機管理対策室が主催する「避難所運営研修」が平和通小学校で実施されました。当日は、町連や校区内の町内会長と役員などが参加し、コロナ禍の拡大で参加者や内容が縮小される中、講義による防災知識の習得や、防災に関する学校設備の確認を行いました。

学校の給水関係の設備や、物資の備蓄庫などを実際に確認することができた一方で、物資の備蓄庫が学校の上層階にあり、スペースも限られているなど、運搬や保管に課題があることもわかり、より良い方法はないか考えるきっかけになるなど、有意義なものとなりました。



また、引き続き、1月20日には、白石東地区町内会連合会が主催し、札幌アポロ株式会社さんと札幌市水道局から講師をお招きして、町連の町内会長が参加して防災講習会を開催しました。

新型コロナが爆発的な拡大を始めた時期で、参加者は町内会長に限定せざるを得ませんでした。災害時のライフラインについて、座学形式で知識の習得に努め、地震によるガス遮断時の復旧の方法や、災害時の水道の利用について、それぞれ専門的な見地から講義をしていただきました。



さらに、令和4年2月17日午後1時30分から、白石東地区社会福祉協議会が主催し、災害時要配慮者支援事業研修会「災害時72時間との取り組み7」として、北九州からNPO法人ANGEL WINGS理事長の藤澤健児氏とオンラインでつなぎ、研修会を実施しました。

「コロナ禍における地域防災について」と題し、災害の危険とコロナ感染の危険、それぞれを正しく理解して災害に備えるための講話を通して地域コミュニティに求められること、感染拡大を防ぐための対処、住居スペースの問題を始めとし、次世代を担う子ども達や若者の育成の重要性を学びました。



まちづくり通信の編集を始め、当協議会に多大なご尽力をいただきました石山きよみさんが令和3年9月27日に逝去されました。生前のお力添えに深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

編集委員

板垣〔まち協〕・市橋〔まち協〕・長井〔体振〕

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL：011-862-0813 FAX：011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

**スタッフ
募集中**